

みんなの！！



安来市加納美術館

つうしん

2025年
10月
No.023

企画展

こうげい
やすぎ

絢の美 広瀬絣の今

伝習所—手仕事を継ぐ人びと 開催！

2025 10月11日(土) — 12月22日(月)

伝統を受け継ぐ安来の手仕事を紹介する企画展
「こうげいやすぎ」第2弾！

今回スポットをあてる広瀬絣は絵模様と幾何模様を組み合わせた柄が特色で、島根県の無形文化財に指定されています。江戸時代に始まり明治には大産業に発展。その後衰退しますが、地域の織手たちの

尽力によってよみがえり、今も技術が伝承されています。

本展では広瀬絣の復興と継承に長年携わってこられた永田佳子さんの作品をはじめ、伝習所で学び実践を重ねる作り手たちの仕事を紹介します。



着物「山法師」永田佳子

会期中のイベント

イベントの詳細はお問い合わせください

オープニングセレモニー

10/11(土) 時間 10:00~
終了後、ギャラリーツアーを行います

永田佳子さんトークイベント

10/12(日)
時間 13:30~15:00 (13時開場)
会場 布部交流センター (美術館となり)
参加費 無料

アートdeトーク (対話型鑑賞会)

10/18(土)
時間 11:00~/13:30~
会場 美術館展示室
作品について楽しく対話しながら鑑賞します。気軽に参加OK！

学芸員による ギャラリートーク

10/26(日) 11/23(日)
12/14(日)

時間 11:00~/13:30~
会場 美術館展示室

名碗を愉しむ会

10/19(日)
11/16(日)

時間 10:30~/13:30~
会場 茶室「如水庵」
参加費 2,000円 (美術館入館料別途)
定員 各5名
要申込 開催日3日前までに要予約

体験イベント!

手織り体験

10/12(日)・26(日)
11/9(日)・23(日)
12/7(日)

時間 9:00~11:30 随時
会場 美術館展示室
講師 伝習生のみなさん

予約
不要

着付け体験

11/15(土)
受付 10:00~15:00
参加費 2,000円(入館料別途)
広瀬絣の着物を着て美術館周辺を散策

要予約
(3日前)

予告

企画展 「鈴木禎三陶展」(仮)

小企画展
加納溥基コレクションより
「備前焼」

2026
1.11(日)

»

4.5(日)(予定)

岡山県津山市で活動中の陶芸家鈴木禎三さんは「窯変天目茶碗」を独自に制作し、注目されています。陶歴は備前焼からスタートし、青年海外協力隊でフィリピンで陶芸の指導をするなど、多様な経歴の持ち主です。本展では当館の備前焼コレクションとコラボ展示をします。



聞かせて!!お客様のこえ

美術館運営をよりよくしていくため、アンケートを実施しています。
その中からいくつかご紹介し、ご意見ご要望にお答えします。

期間

2025年
7月12日
▼
10月5日

企画展「安部朱美
人形とたどる昭和100年・戦後80年」
加納莞薈展「今願こそー世界の平和を」

安部朱美 人形展について



幼い頃の思い出が
鮮明に

幼い頃の思い出が懐かしく鮮明に。あの時代の苦労。でも、物が無くても心や絆が豊かだった事を思い起こすことができました。感謝です。



目線に合わせた
展示よかったです

人形の目線に合わせて展示してあるのを見るのがよかったです。



スライドも感動

4分間のスライドもよかったです。たった4分なのにとても感動しました。



「こんな子
おったおった」

表情がとてもよく出来ている。「こんな子おったおった」とつい口に出ました。



思わず涙が
出ました

作品『平和っていつくの』思わず涙が出ました。静かに訴えかける姿に感動しました。



戦争をしては
ならない

懐かしさと感動。そして戦争を決してしてはならない教訓。子や孫たちに引き継げること、自分のできることは何かと考えさせられました。

加納莞薈について



コラボ展に感動

加納莞薈さんと安部朱美さんと戦後80年の今、世界平和に向けて行動を起こすことへのコラボ展に感動しました。加納さんの行動力、勇気、平和に対する思いが胸に迫ってきました。巡回展を企画していただきたいです。



平和を願う人達が
結びついていけば

加納莞薈さんの嘆願書を書き続けた行為に感動し、キリノ大統領が家族を殺されたにも関わらず、許したことに感動しました。世界の平和を願っている人達が、結びついでいけたらいいですね。

美術館について



豊かな自然
もっとアピールを

外にトンボがたくさんいて素敵です。こんなに豊かな自然があるなら、もっとアピールした方がよいです。



早く来るべき
でした

ちょっと遠いなど、来たことがなかったけど、早く来て一緒に世界平和を願うべきでした。



存在を意識した
ことはなかったが

素晴らしい美術館だと思いました。近くに住んでいながらも存在を意識したことはなかった。本当に来てよかったです。

「加納辰夫文書」 安来市有形文化財に指定されました

加納莞薈(本名：辰夫)は、第2次世界大戦終後フィリピンに戦犯として収容されていた日本兵の助命嘆願のため、フィリピン大統領や世界の要人に向け多くの嘆願書を送りました。そして今年7月、この一連の嘆願書資料242点が「加納辰夫文書」として安来市有形文化財に指定されました。

往信・来信、当時のフィリピン刑務所長から送られた日本人戦犯名簿、莞薈が嘆願活動中の心情や成果を綴った手記など、当館ではこれら嘆願書の実物資料とデジタル画像を保存しています。

今後はいっそう、莞薈の平和思想と活動について多くの方に知っていただくため、資料の保存・有効活用・情報発信に努めてまいります。



名誉館長 加納佳世子からのコメント

再び戦争を繰り返してはならないと言い続けた莞薈。そして「キリノ大統領の“日本人戦犯赦免のモラル”は広く世界に広めるべきもの」と言い続けていました。

その莞薈の嘆願書資料が文化財指定されたことは、大変意義深く、次世代の世界平和実現に向けての大きなステップになることだと思います。